

P8310775.JPG 2019/02/11
慶応四年六月二十三日より二十九日まで

P8310775right

文通申越す略(ほぼ)酬遣□、展用の内外事報十二冊返し遣す、此の謝意として須崎え新店の酒半壇許(ばかり)を遣す

廿四日午 晴

保三大助来り、蒸菓子持来、午餐を設く、妻儀三囲社(*)え詣る、菅沼勝来り金策の頼

□々に演述薄免^をを□く

廿五日未 晴

西堀長来る、午餐を勧む、松堅亭^を来る、桃実一籠持来、酒飯等を設く、妻儀皆を伴て三囲社晒品一□に詣、

廿六日申 雨午前止猶陰

P8310775left

□我方え□□漬を遣す、妻儀快勤訪病に行き鰹節、紫蘇味噌え壺方添持

来、病躰危篤の由也、小品を酬(むくい)る^を、須崎常より過^る日の壇を返し□煮餅を贈らる

廿七日酉 陰

快翁の病を問ふ投品持来、又^を郎生来る夕餐を勧む

廿八日戌 雨

快翁病□賀意也とて赤飯贈り来る、

廿九日亥 晴

須崎常来る、快翁今朔易□責の趣也、□□叔母孫松同断羊羹折、梨並土産丹より附贈品の内鶏卵一□等午餐茶菓等を設く、菅沼勝義小川直人なる者を初て

*三囲(みめぐり)社 墨田区向島

□印は解読未了の文字です。私の実力ではすぐ解読はできません。